



# 園だより

2022年8月  
尚徳福祉会 馬橋保育園  
辻 敦美

8月に入りジリジリと日が照りつけ、いよいよ暑い季節がやってきました。子どもたちは、プール活動や水遊びを存分に楽しみ、夕方の涼しい時間帯になると園庭遊びや園周辺へお散歩に出かけるなどたくさん体を動かして遊んでいます。疲れも出やすい時期なので、活動後のクールダウンや食事、睡眠をしっかりと、そして、園での生活リズムを整えるなど、免疫力低下に繋がらないよう気をつけていきます。また、新型コロナウイルスだけでなく、子どもの間では三大夏風邪と呼ばれるヘルパンギーナ・手足口病・プール熱などの様々な感染症や熱中症にも気を付けなければいけない季節です。園でも引き続き感染症対策を徹底し、子どもたちの健康管理・安全対策には十分配慮してまいります。今月も、子どもたちが笑顔で楽しく過ごせるよう保育をしていきたいと思ひます。



## 「待つ」ことも必要な関わり方

先月、米メジャーリーグで大活躍の大谷翔平選手を4年間取材した「知られざる4年の真実」という番組がNHKでやっていました。ご覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、彼とお父様とのやりとりに学ぶ事が多く、見終わった後、子どもたちとの関わり方について見つめ直すきっかけとなりました。大谷選手は、幼い頃から練習の反省や目標、自己分析などを毎日ノートに記して父親とやりとりをしていたそうです。まさに、言葉のキャッチボールですね。大谷選手は父からの言葉の中で常に言われたことは、「いつでも一生懸命声を出しなさい」「一生懸命に走りなさい」「一生懸命ボールを拾いなさい」という当たり前のことを一生懸命に取り組むことの大切さであり、今でも心の糧になっていると話していました。このことに対してお父様は、地道に行うことが少しずつ積み重なり自分の成長に繋がるということを知って欲しかったと、また、だからこそ結果ではなく一生懸命な姿を褒めるようにしたと子育てについて話しておられました。保育の現場でも、子どもたちに対して「頑張る姿を褒める」ことは大切なことです。しかし、時にはできないときがありますよね。何か不安を抱えているときや嫌な気持ちを味わってしまうなど原因はさまざまです。そのような時、ちゃんと子どもたちの心や言葉に向き合っているか、子どもたち自身が自分と向き合う時間を作ってあげられているかを振り返りました。私は、気持ちが元気になる前向きになることができるまで「待つ」ということも必要な関わり方ではないかと思うのです。一生懸命頑張れる力がでるまで焦らずゆっくりと「待つ」ことや一歩踏みだしたときに笑顔で優しく背中をおしてあげることができるよう子どもたち一人一人の心としっかり向き合っていける保育士でありたいと思ひます。日々努力！

### ～今月の行事予定～

- 4日(木) 0歳児健診  
英語で遊ぼう(幼児クラス)
- 9日(火) 乳児計測
- 10日(水) 幼児計測
- 23日(火) おはなし会(幼児クラス)
- 25日(木) 英語で遊ぼう(幼児クラス)
- 26日(金) 避難訓練
- 31日(水) プール閉まり

※9月1日(木) 避難訓練の一環として、引き渡し訓練を行います。通常通りのお迎えで構いません。詳しい内容は、後日お手紙をお配りしますのでご確認ください。

### ～お知らせ～

#### 🌻 運動会について

馬橋保育園の運動会は、幼児クラスのみでの参加です。今年度の運動会については、保護者会でお伝えさせていただきましたが学年別で行います。また、観覧についてですが、昨年度は保護者の方のみとさせていただきますが、今年度より各ご家庭5名まで受け入れを可能と考えております。但し、新型コロナウイルスの感染者数の状況、当日雨天の場合は保護者の方のみとさせていただきます。最終決定は、10月の園だよりでお伝えさせていただきます。

- ★ゆり組 8時45分～9時45分
- ★すみれ組 9時45分～10時40分
- ★ひまわり組 10時40分～11時50分